

市民委員会資料

所管事務の調査（報告）

中央卸売市場北部市場青果部の機能強化について

- 資料 1 北部市場青果部の機能強化に向けた施設整備の基本的な方針
資料 2 第 1 段階の施設整備について

経済労働局

平成 25 年 6 月 14 日

1. 北部市場の現状と課題

【市場を取り巻く環境の変化】

- ・市場経由率の低下、市場間競争の激化と格差の拡大
- ・流通構造の変化(生産者・出荷者による卸売市場の選別傾向、量販店へのシフト等)
- ・消費者の意識の変化(生鮮食料品購入比率の低下、安全・安心への意識の高まり等)

- 年間取扱高の減少傾向
- 事業者数の減少傾向

課題

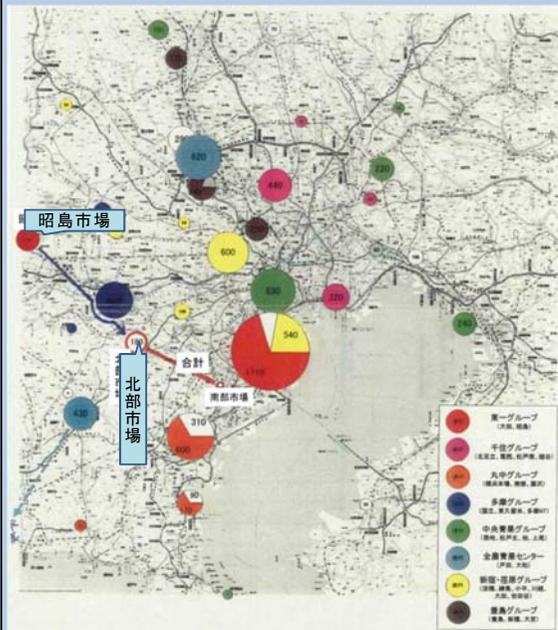
- 安心・安全な食料品等の安定供給を担う市場機能の持続的継続
- 卸・仲卸の経営改善、市場の活性化

2. 北部市場青果卸事業者の合併について

【合併の概要】

平成25年3月18日 北部市場の川崎中央青果株式会社と昭島市場の東一西東京青果株式会社との合併計画の対外公表
 ■新会社:東一川崎中央青果株式会社
 ■形態:川崎中央青果株式会社を存続会社、東一西東京青果を消滅会社とする対等合併

平成25年10月1日 合併



H.25.4月15日、青果卸から本市に対し青果部の機能向上に向けた施設整備の要望書が提出される。

北部市場青果卸事業者の合併により、**北部市場の機能向上と好立地を最大限に活かし、販売先の拡大や集荷の強化を図る。**

取扱量の増大や新たなニーズに対応した**施設整備が必要**

北部市場青果部の**機能と地位の向上**

要望を受けて対応

3. 北部市場中長期プラン基本計画（平成21年8月策定）

■市場は安全・安心な生鮮食料品等を災害時も含め、市民に安定供給するといった公益的機能を有しており、この機能を将来にわたって、維持していくために、市場の活性化策や施設整備の方向性を示した北部市場中長期プラン基本計画を策定し、これに基づいた市場運営に現在取り組んでいる。

1. 市場機能の高度化

- ・コールドチェーンの確立、良好な場内温度環境の実現
- ・荷捌き・物流の効率化(荷捌きスペースの改善・拡充、動線の整理等)
- ・加工機能の強化等

2. 市場経営の健全化

- ・新たな収入源の確保(駐車場の有料化、土地の有効活用等)
- ・既存施設の有効利用、受益者負担の原則に基づく適正な規模の施設整備、場内事業者の経営力強化

3. 公と民の役割分担

- ・事業の機動性の担保と柔軟な事業手法(民活等)の採用、定期借地権方式の導入等

方向性

- ◆北部市場青果部の機能向上と経営の持続性確保
- ◆市場会計の健全化と市場機能の持続的継続

方針

4. 北部市場青果部の機能強化に向けた施設整備の基本的な方針

1 青果卸による施設整備について

段階的に次の整備を進める。

(1) 第1段階の整備（整備時期:平成25年8月～11月）

青果卸の合併に伴い、取扱高増への対応として卸売場等を仮設(約1,900㎡)により整備する。

(2) 第2段階の整備（整備時期:平成26年度中を予定）

青果部の荷捌き機能及び本格的な卸機能の強化について、次の施設整備を行う方向で検討を進める。

- ・配送棟(荷捌所、加工場、検査所、事務所等)
- ・卸売場

(上記の施設整備に合わせて、代替の駐車場を整備する。)

2 事業主体

青果卸事業者(川崎中央青果株、合併後東一川崎中央青果株)

3 市の役割

計画推進に向けた調整等の支援を行う。

5. 整備の効果

【具体的な効果】

- 安心・安全な食料品等の安定供給を担う市場機能の持続的継続につながる。
- 青果卸による施設整備後に昭島市場から大手仲卸等を誘致することにより取扱高・取扱量の拡大が見込めることから、売上高に応じた**市場使用料の歳入増**が期待できる。
- 施設整備については、事業用定期借地制度等を活用し、民間活力により整備するため市の**費用負担が限定**される。また、事業用定期借地等により**施設使用料(歳入)の増加**が見込める。
- 施設整備に伴って増加する従業員等の車両(数百台程度)の**駐車場使用料の歳入増**が見込める。
- 施設整備後の大手仲卸等の誘致により、パート労働者等**雇用の創出効果**が期待できる。
- 既存の仲卸にとっては、合併による**集荷の強化**により品の拡充等の恩恵を受ける。

■青果卸の合併に伴って必要となる施設の整備

整備段階	整備内容	整備スケジュール
第1段階	①仮設倉庫(平屋建て、450㎡×2箇所)を新設	平成25年8月下旬着工、10月初旬竣工(稼働)予定
	②-1仮設卸売場(平屋建て、500㎡)を新設 ②-2仮設卸売場(平屋建て、500㎡)を新設	平成25年10月着工、11月中旬竣工(稼働)予定
第2段階	青果部の荷捌き機能及び本格的な卸機能の強化に向けて、 配送棟 や 卸売場 、代替の駐車場等の施設整備について、位置や規模を含め検討を進める。	平成26年度中を予定

